

# 校長室通信

津谷中学校 校長 今野勝美

令和3年1月13日（水）

以前、校長室通信を発行していた校長先生がいらしたということのを伺っておりましたので、私も不定期ながら生徒または保護者の皆様に向けて発行したいと思います。

今回は **数学のおもしろさ（part 2）** についてです。

明けましておめでとうございます。

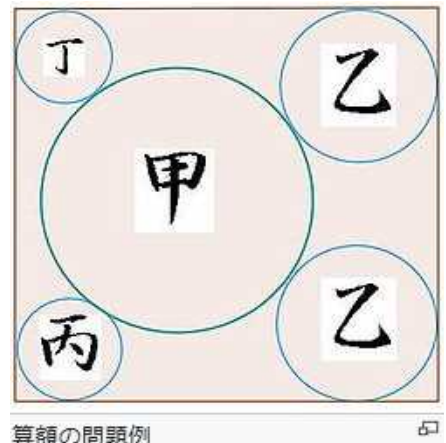
先月は数学のおもしろさについて述べました。本日の朝会では、前回の朝会に続き、「数学のおもしろさ part 2」と題して日本において江戸時代に関孝和に端を発した和算がこの地方にまで広がり“算額”になったことを生徒に紹介しました。

算額は、和算において問題が解けたことを神仏に感謝し、ますます勉学に励むことを祈念して奉納されたと言われています。やがて、人々の集まる神社仏閣を問題の発表の場として難問や問題だけを書いて解答を付けずに奉納するものも現れ、それを見て解答や想定される問題を再び算額にして奉納することも行われました。

このような算額奉納の習慣は世界中をみても他に例がなく、日本独特の文化といわれています。その一部は重要文化財や民俗文化財に指定されているものもあります

1997年に行われた調査結果によると、日本全国には975面の算額が現存していることが分かりました。現存する算額は関東地方や東北地方が多く、最も多いのが福島県の103面、次いで岩手県93面、埼玉県91面などとなっています。

<参照:フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』>



## 宮城県内にある江戸時代の算額

私が県庁に勤めていた時に、偶然知人からある大学の先生が宮城県内の算額について調査していることを伺いました。何でもその先生は、寺社に奉納されている算額の難易度を調査し、その地方の庶民の数学的力量を図ることにより、学問に対する関心度などを研究しているとのことでした。また、実際にその問題を解いていく中で、間違いを探すことにも関心をもっていたとのことでした。実際に見せていただいた資料は次のとおりでした。

[宮城県内にある江戸時代の算額]

No	年 号	西 暦	寺社名	住 所	出 題 者
1	文政 5 年	1822 年	観音寺	気仙沼市本町	熊谷恒八郎直方
2	天保 7 年	1836 年	塩竈神社	塩竈市一森山	千葉胤秀門人安部貞二保定
	〃	〃	〃	〃	千葉胤秀門人京介五郎寛定
3	天保 15 年	1844 年	鳥海神社	登米市津山町柳津	千葉胤道門人松森市松道春
4	弘化 5 年	1848 年	鹿島神社	丸森町小斎字日向	伊藤英輔隸尾門人岸浪左衛門道房
5	嘉永 3 年	1850 年	清水嶺神社	名取市愛島小豆島	不明
6	寛永 4 年	1857 年	八坂神社	大崎市古川中島町	千葉胤秀門人金原全十郎儀内
7	万延元年	1860 年	丸森名神社	丸森町	千葉胤秀後入伊藤直之門谷水利右衛門
8	万延 2 年	1861 年	羽黒神社	気仙沼市九条	千葉胤秀門人辻本八重治
9	文久元年	1861 年	塩竈神社	塩竈市一森山	千葉胤英門人渥美長六康久
10	文久 2 年	1862 年	八幡神社	大和町吉岡	佐藤良平裕嗣門人早坂栄三郎平永
11	慶応 3 年	1867 年	沖野八幡神社	仙台市若林区沖野	遠藤右門清寅門人丹野三郎治清晴
12	慶応 4 年	1868 年	舞野観音堂	大和町落合舞野	佐藤良平裕嗣門人相澤治左衛門祐貞

**算額に力を入れている一関市**

当地域に隣接する一関市では、江戸時代に算額が盛んだった歴史があることを受け、一関市博物館で算額に関する取組を現在でも行っています。毎年、「和算に挑戦」というタイトルで江戸時代の数学を現代風に変え、初級問題、中級問題、上級問題の3つに分けて出題しています。毎年応募者全員に解答集が贈呈されるほか、優れた解答を表彰しています。今年度の締め切りが**1月20日（水）消印有効**になっていますので、興味ある方は一関市博物館のホームページ <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp> から「和算に挑戦」をクリックし、『令和2年度 和算に挑戦 解答用紙』をダウンロードして応募してみてください。なお、表彰式が3月7日（日）午後1時30分からあります。また、同日から約2ヶ月程度、正解者名や各賞、応募状況や解答例を博物館内に掲示するそうです。



むすびに

数学となると難しいというイメージからみんなに敬遠されがちですが、江戸時代の農民たちの冬期間の楽しみとしてあったものだということが分かったかと思います。私たち人間には、生まれつき知的好奇心が備わっているということを自覚し、これからも数学と真摯に向き合ってほしいと願います。